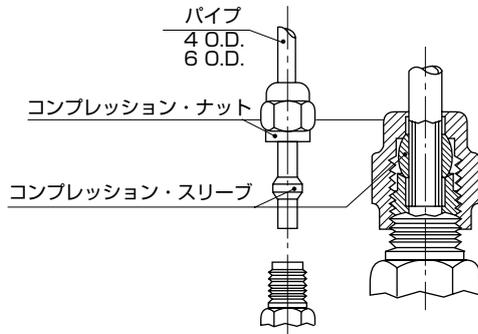


配管接続方法

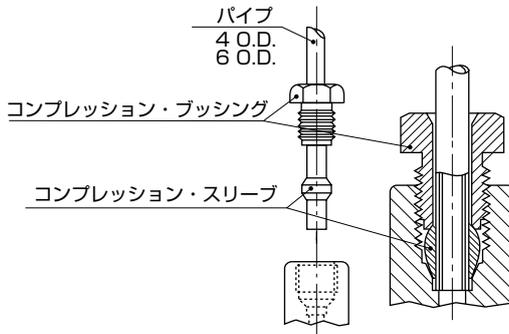
締め付け方法

図 1

●コンプレッション・ナット使用例

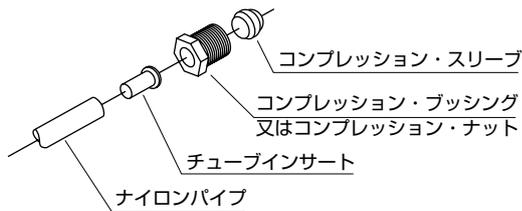


●コンプレッション・ブッシング使用例

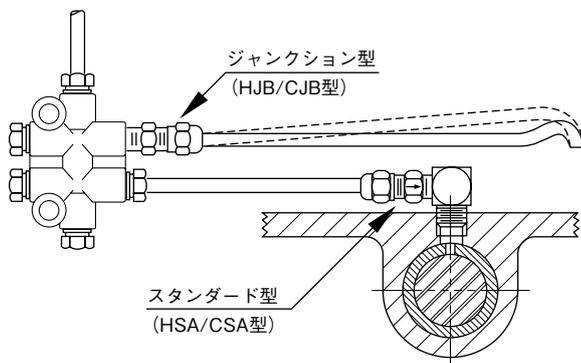


●樹脂パイプ使用例

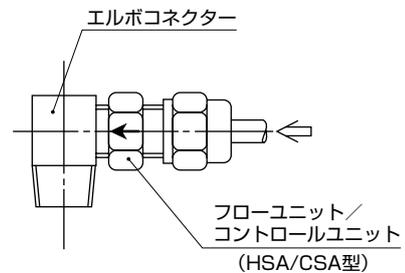
チューブインサートをナイロンパイプの内側に入れ、スリーブはナイロンパイプの外側にかぶせパイプの先端を2mm程出して締めつける



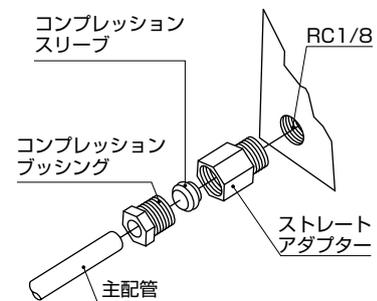
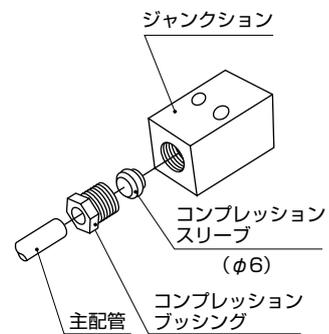
●フローユニット、コントロールユニットの使用例



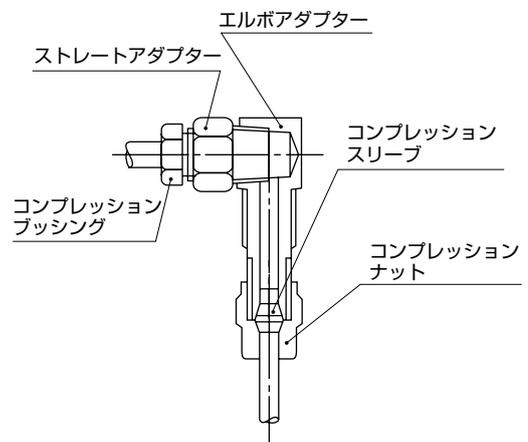
●コネクター使用例



●主配管の接続例



●アダプター使用例



1. 集中潤滑装置の配管継手は、くい込み式で継手ネジはJISメートルネジ又は管用ネジを使用しています。
2. 配管は通常、主配管用はφ4又はφ6、φ8、給油配管用はφ4を使用し、材質は鋼又は樹脂が一般的です。
3. 管の切断は、パイプカッターで直角に切断面を崩さぬように注意してください。切断後は管端内外面のバリ取りを必ず行ってください。この時、管を扁平させたり、外面に深い傷をつけないように注意してください。
4. 管の締め付けは、まず管にコンプレッション・ナット又はコンプレッション・ブッシングを、次にコンプレッション・スリーブを挿入して、継手本体に差し込みしめ付けてください。この場合、コンプレッション・スリーブから管の先端を2～3m/m位突き出させて、管端を確実に継手本体に差し込んでください。又樹脂パイプをご使用の場合は、必ずチューブインサートをご使用ください。
5. フレキシブルホースの取付け
フレキシブルホースはよじらせて使用したり、先端金具の端末からの極端な屈曲はさけてください。又、曲げ半径は規定値よりも必ず大きくとってください。
6. フローユニット/コントロールユニットの接続
HSA型/CSA型は管路の最先端(潤滑個所)に取付け、末端で流量規制するので、ポンプの圧力が微少変化すると直ぐ潤滑個所にオイルが吐出します。しかし、HJB型/CJB型はジャンクションに取付けられ、その先に給油配管がつけられるためフローユニット/コントロールユニットから吐出されたオイルが潤滑個所に給油されるには、給油配管全体にオイルが満たされねばなりません。従って何度かのポンプ動作後、オイルが管路全体に行き渡った時、はじめて末端部からオイルが吐出されます。ただし、一度吐出されれば、その後はフローユニット/コントロールユニットからの吐出とほぼ同時に吐出されます。